

工事店様へ…この説明書は必ず製品に掛けておいて下さい。

ONDA

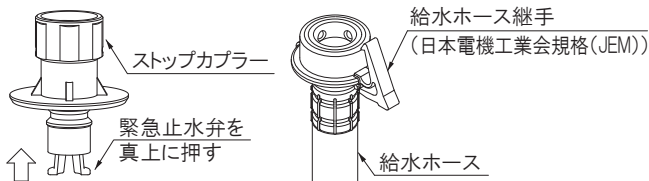
1A-363+00+01Y

ストップカップラー 使用方法説明書

- この説明書には全自動洗濯機用自動連結継手(以下、ストップカップラーという)の使用 방법이記載されています。大切に保管し、必要な時にお読み下さい。
- 本製品は洗濯水用です。飲用水用ではありません。
- 洗濯機をご使用にならない時は必ずハンドルを『止』の位置にしてください。
- 給水ホース継手は必ず日本電機工業会規格(JEM)適合品を使用して下さい。

給水ホースと接続する前に

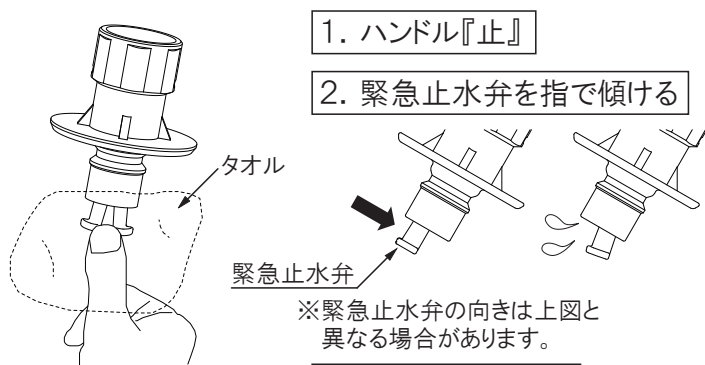
1. ハンドルが『止』の位置にあることを確認して下さい。
 2. 緊急止水弁を指で押して、ストップカップラーの中へ入り込むことを確認して下さい。
- ※この時、少量の水が出る場合があります。
 ※緊急止水弁が入り込まない場合、ストップカップラー内の圧力を逃して下さい。(圧力の逃し方は**給水ホース継手が接続できない場合**を参照して下さい)



1

給水ホース継手が接続できない場合

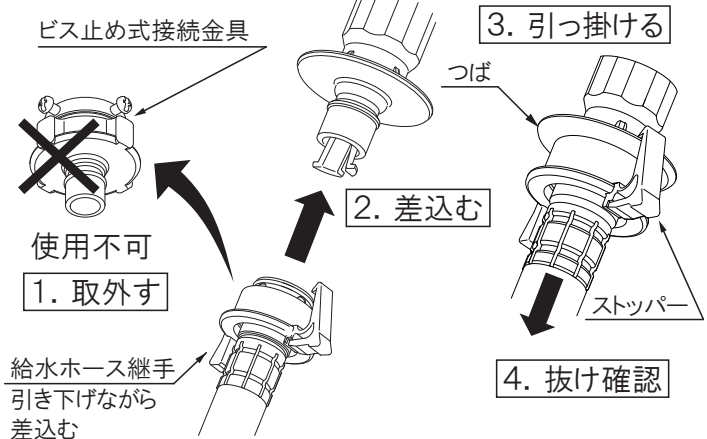
- 通水後、給水ホースを取外した時などに、ストップカップラー内の圧力により緊急止水弁が作動し、再接続しにくい場合があります。この場合は、ストップカップラー内の圧力逃しを下記の手順で行って下さい。
1. ハンドルが必ず『止』の位置にあることを確認して下さい。
 2. 緊急止水弁の先端を指で傾け圧力を逃します。
 ※圧力を逃した際に、配管内の水が出てきますので、タオルなどで押さえて、作業して下さい。
 3. 圧力逃し後、緊急止水弁を指で押して、ストップカップラーの中へ入り込むことを確認し、給水ホース継手を接続して下さい。



3

給水ホース継手の接続方法

1. 給水ホース継手に接続されているビス止め式の接続金具を取外して下さい。(本製品との接続には使用しません)
2. 給水ホース継手を引き下げながら確実にストップカップラーへ差込んで下さい。
3. 給水ホース継手のストッパーをストップカップラーのつばに引っ掛けて下さい。
4. 給水ホース継手を接続したら、ホースを引っ張って抜けないことを確認して下さい。
5. ハンドルをゆっくり開いて、漏水が無いことを確認して下さい。



※二層式洗濯機には別途、適合するアタッチメント(市販品)が必要です。

2

寒冷地用仕様の水抜き方法

1. 配管部の元栓を閉め、水抜き栓を開けて下さい。
 2. ハンドルを『開』の位置にしてください。
 3. 給水ホース継手を外して下さい。(給水ホース内の残水はバケツ等で受けて下さい。)
 4. 緊急止水弁の先端をタオルなどで押さえながら、押し込んで下さい。
 5. 緊急止水弁から水が出たあと、ストップカップラーから空気を吸い込み、配管内の水が水抜き栓などから排出されます。しばらくの間、緊急止水弁を押したままにしてください。(30秒程度)
 6. 水抜き完了後は、給水ホース継手を接続し、必ずハンドルを『止』の位置にしてください。
- ※寒冷地用仕様には、逆止弁が内蔵されていません。

株式会社 **オンダ** 製作所

URL <https://www.onda.co.jp/>

●営業本部 〒501-3263 岐阜県関市広見851番地の3

TEL (0575)24-8585 (代)

商品の技術的なお問合せ専用回線です。(ご注文は営業窓口へお願いいたします。)

お客様相談窓口 ☎ 0120-12-8585

受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00

(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

材質：紙

4

AF2型 洗濯機用コンセント 取扱説明書

1. 安全上のご注意




施工前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しく施工して下さい。

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守って下さい。



・施工完了後、正常に作動することを確認して下さい。

・お客様に、使用上の注意をよく説明した後、必ずこの取扱説明書を保管いただくように依頼して下さい。

●お守りいただく内容を次の絵表示で区分し、説明しています。

-  この記号は、必ず実行していただく『強制』内容です。
-  この記号は、してはいけない『禁止』内容です。
-  この記号は、気を付けていただきたい『注意喚起』内容です。

●工事店様へ

-  凍結が予想される場所で使用する場合は、必ず凍結防止対策(保温処理など)を施して下さい。部品が破損して漏水するおそれがあります。
-  解氷機(凍結した水道管などに電流を流して解凍する装置)を使用する場合、製品には通電してはいけません。製品が発熱し、破損して漏水するおそれがあります。

2. 本製品の仕様と使用条件

使用圧力範囲	0.05MPa~0.75MPa	
使用温度範囲	0℃~40℃	
使用流体	冷温水(上水道水)	
使用環境温度	一般地用(逆止弁付)	0℃~40℃
	寒冷地用(逆止弁無)	-20℃~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)
用途	洗濯機用(屋内用) (飲用ではありません)	

●給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で適正圧力(0.2MPa~0.4MPa程度)に減圧して下さい。

3. 施工の前に

●本製品は壁厚9.5mm、12.5mmのボード(壁)に対応しています。壁厚を確認してから施工して下さい。それ以外の壁厚には施工できません。

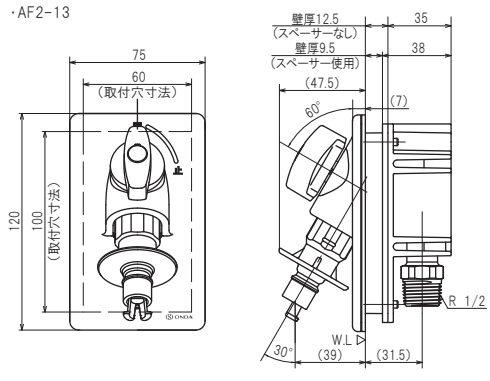
●壁内空間は表①の通り確保して下さい。壁厚空間が表①未満の場合は施工できません。

●取付位置は、洗濯機の機種や設置環境を確認のうえ、決定して下さい。

表①

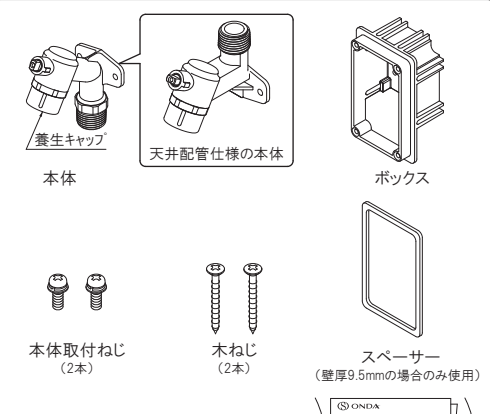
壁厚	壁内空間
9.5mm	38mm 以上
12.5mm	35mm 以上

4. 完成図 ●品番によって、図と現品の形状が異なることがあります。

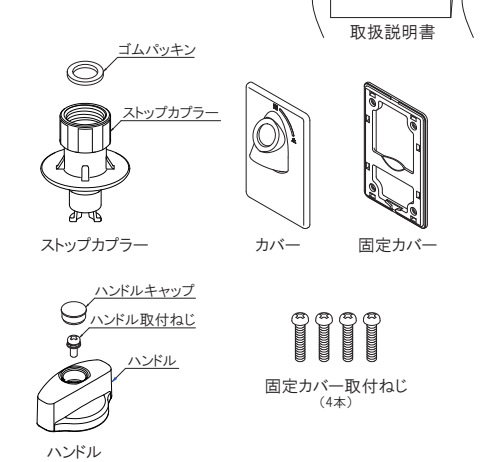


5. 部品の確認

●壁工事前に使用する部品




●壁工事後に使用する部品

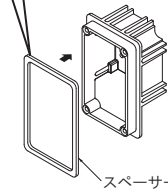


6. 施工手順


1. ボックスの取付け

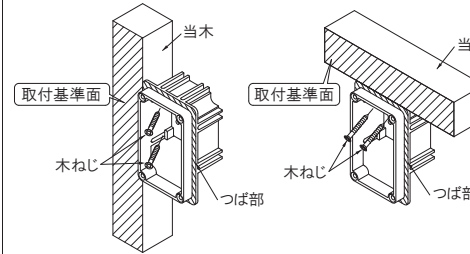
①壁厚を確認し、9.5mmの場合はスペーサーを取付けて下さい。

 必ず壁厚が12.5mmであることを確認して下さい。9.5mmの場合はスペーサーを取付けて下さい。




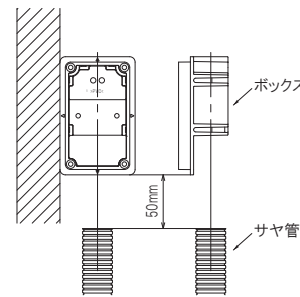
②取付け高さを考慮して当木などを設け、ボックスの側面(2箇所)または、上面(2箇所)を木ねじで取付けて下さい。天井配管の場合、側面(2箇所)で取付けて下さい。

 ボックスのつば部と取付基準面が一致するように注意して取付けて下さい。




③ボックス下端から約50mmのボックスセンター位置にサヤ管を敷設して下さい。

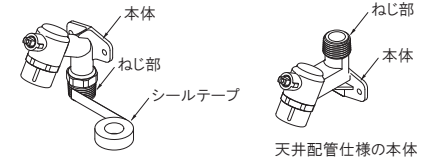
 サヤ管は必ず所定の位置に敷設して下さい。本体が取付できなくなったり、本体に無理な力が加わり破損するなどして、漏水の原因になります。



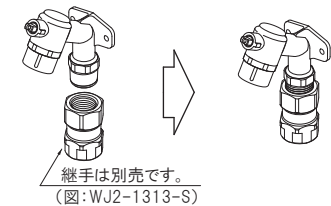
2. 本体の取付け及び樹脂管の接続

 本体に継手をねじ込み、継手と樹脂管を接続した後、ボックスに本体を固定します。ボックスへの固定は給水側の樹脂管接続よりも必ず前に行ってください。本体がボックスに収められない場合があります。


①本体のねじ部にシールテープを巻いて下さい。

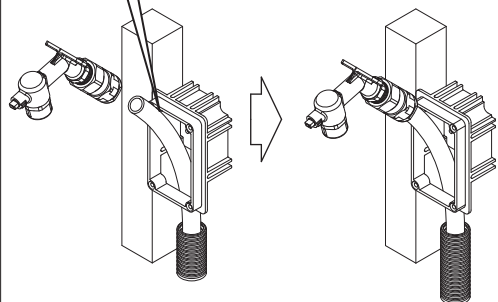



②本体に継手をねじ込んで下さい。



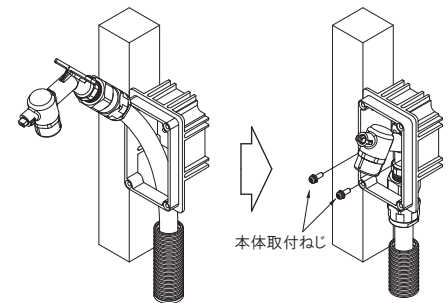
③継手と樹脂管を接続して下さい。

 樹脂管を引き出す際に、ボックスで樹脂管にキズを付けない様に注意して下さい。



 継手と樹脂管の接続は、使用する継手の施工手順に従って確実に行って下さい。

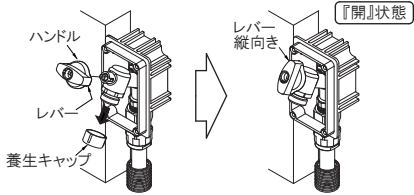
④本体と継手をボックスに収めて、本体取付ねじで固定して下さい。



3. 耐圧検査

強制 樹脂管接続後、水圧検査または空気圧検査を必ず実施して下さい。各接続部に漏れがないことを目視または触感で確認して下さい。

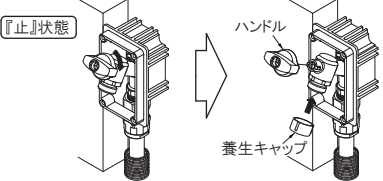
- ① ハンドルのレバーを横向きにしてハンドルを取付けて下さい。
- ② 水圧検査を実施する場合、養生キャップを外し、ハンドルを反時計回りに回して、給水管にたまったエアを抜いて下さい。



注意 ハンドルのレバーが縦向きになるときの状態です。バルブは『止』の状態です。工場出荷されていますので注意して下さい。

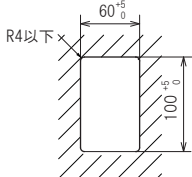
- ③ エアを抜いた場合、ハンドルを時計回りに止まるまで(90°)回して下さい。
- ④ 耐圧検査を実施して下さい。耐圧検査後、ハンドルを外し、養生キャップを取付けて下さい。

強制 耐圧検査において挿入不足が原因の漏れが発見された場合、その本体は取り除き必ず新品の本体で再施工して下さい。

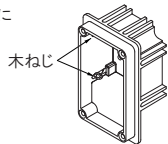


4. ボード(壁)施工時の壁開口

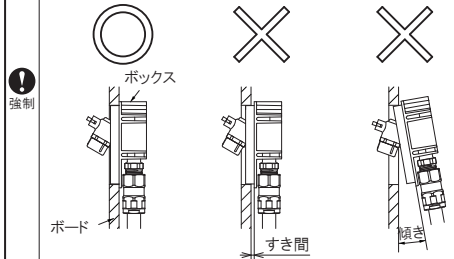
- ① 下図のように壁に穴をあけ、壁をはりつけて下さい。



- ② ボックスを確認し、ボックスと壁表面との間に下図の様にすき間や傾きがある場合は、木ねじをゆるめて微調整をして下さい。

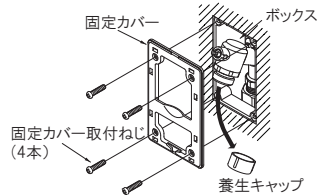


ボックスと壁表面との間にすき間や傾きのないことを必ず確認して下さい。すき間や傾きがあると、カバーとハンドル、ストップカブラーが干渉したり、固定カバーが取付けられなくなるおそれがあります。



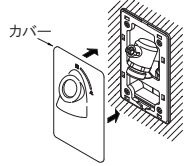
5. カバーの取付け

- ① 養生キャップを外し、固定カバーを固定カバー取付ねじ(4本)でボックスに取付けて下さい。固定カバーとボックスでボード(壁)を挟み付けた状態になります。



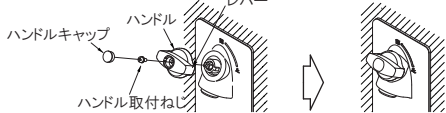
注意 固定カバー取付ねじを締めすぎないように注意して下さい。固定カバーが変形しカバーが正常に取付けられなくなるおそれがあります。

- ② カバーを固定カバーに取付けて下さい。



6. ハンドルの取付け

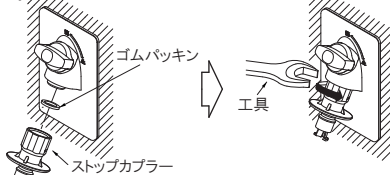
ハンドルをさし込み、ハンドル取付ねじをねじ込み、ハンドルキャップを取付けて下さい。ハンドルのレバーがカバー表示の『開』と『止』の間になる様に取付けて下さい。



- ③ 手動のドライバーを必ず使用して下さい。

7. ストップカブラーの取付け

- ① ストップカブラーを本体に取付けて下さい。ストップカブラーにゴムパッキンがあることを確認し、工具で回し固定して下さい。



注意 ストップカブラーの上記網掛け部は給水ホースとのシール部です。キズが付かないように注意して下さい。カバーにキズが付かないように注意して下さい。ゴムパッキンを紛失しないように注意して下さい。

強制 ストップカブラーはガタつきのないように必ずしっかりと締付けて下さい。(締付トルクは1N・m～2N・mが目安です。)

禁止 ノンアスベストパッキンを使用してはいけません。漏水の原因となります。

- ② 施工後、ハンドルが『止』の位置であることを確認して下さい。



7. 使用上の注意

●使用される方へ

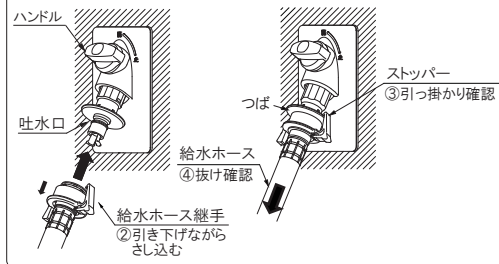
禁止	製品に強い力や衝撃を与えてはいけません。破損してケガをしたり、漏水や故障の原因となります。
禁止	修理技術者以外の人は分解したり、修理してはいけません。故障や漏水の原因となります。
強制	ハンドルは必ずゆっくり操作して下さい。ハンドルを急に閉めるとドンドンという音がして配管に衝撃が加わり、漏水の原因になるおそれがあります。
強制	通水するときは必ず全開にして下さい。流量調節をするとき止水できなくなるおそれがあります。
強制	洗濯機を使用しないときは必ずハンドルを『止』の位置にして下さい。給水ホースに圧力がかかったまま放置すると、給水ホースが抜けるおそれがあります。

寒冷地用で凍結が予想される場合は、必ず水抜きを行い凍結予防を確実に行って下さい。部品が破損して漏水するおそれがあります。

給水ホース継手の接続方法

- ・洗濯機に接続する給水ホース継手は日本電機工業規格(JEM1206)適合品を使用して下さい。
- ※二層式洗濯機には別途、適合するアタッチメント(市販品)が必要です。
- ・給水ホース継手を接続する際は、必ずハンドルを『止』の位置にして、緊急止水弁を押し、吐水口に内圧がかかっていないことを確認してから接続して下さい。

- ① 給水ホース継手に接続されているビス止め式の接続金具を外して下さい。
- ② 給水ホース継手を引き下げながら確実に吐水口へさし込んで下さい。
- ③ 給水ホース継手のストッパーを吐水口のつばに引っ掛けて下さい。
- ④ 給水ホース継手を接続したら、ホースを引っ張って抜けないことを確認して下さい。
- ⑤ ハンドルをゆっくり開いて、漏水が無いことを確認して下さい。

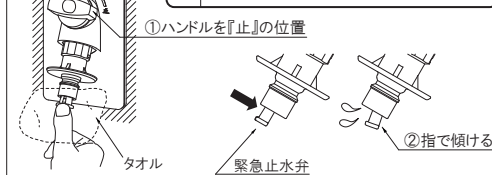


給水ホース継手が接続できない場合

・通水後、給水ホースを外した時などに、吐水口内の圧力により緊急止水弁が作動し、再接続しにくい場合があります。この場合は、吐水口内の圧力逃しを下記の手順で行って下さい。

- ① ハンドルが必ず『止』の位置にあることを確認して下さい。
- ② 緊急止水弁の先端を指で傾け圧力を逃します。※圧力を逃した際に、配管内の水が出てきますので、タオルなどで押さえて、作業して下さい。
- ③ 緊急止水弁の向きは下図と異なる場合があります。

注意 ハンドル位置が『止』になっていない状態で緊急止水弁の先端を傾けると、水が噴き出しますので注意して下さい。



寒冷地用の水抜き方法

- ① 配管部の元栓を閉め、水抜き栓を開けて下さい。
- ② ハンドルを『開』の位置にして下さい。
- ③ 給水ホース継手を外して下さい。(給水ホース内の残水はバケツ等で受けて下さい。)
- ④ 緊急止水弁の先端をタオルなどで押さえながら、押し込んで下さい。
- ⑤ 緊急止水弁から水が出たあと、吐水口から空気を吸い込むことで配管内の水を抜きますので、しばらく緊急止水弁を押し込んだままにして下さい。(30秒程度)
- ⑥ 水抜き完了後は、給水ホース継手を取付け、必ずハンドルを『止』にして下さい。

8. 日ごろのお手入れ

十分な機能を発揮させるため、また、美しく衛生的にご使用いただくために日ごろのお手入れをお願いいたします。

- 軽い汚れの場合・・・水またはぬるま湯に濡した布をよく絞って汚れをふき取って下さい。
- ひどい汚れの場合・・・適量に薄めた中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、水拭きし、から拭きして下さい。

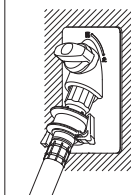
～お願い～

- 製品をキズつけるものは使用しないで下さい。
- 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤(製品の表面が変色します。)
- シンナー、ベンジンなどの溶剤(ゴムや樹脂部品が破損するおそれがあります。)
- クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤、ナイロンたわし、たわし、ブラシなど(製品の表面にキズがつきます。)

9. 定期的な点検のお願い

安全・快適にご使用いただくために、定期的な点検が必要です。

定期的な点検



定期的なまわりの壁が濡れていないか、ストップカブラー接続部等から漏水がないか点検して下さい。

万一、漏水を発見した場合は、元栓を閉めた後、お求めの取付店・販売店に連絡して下さい。

修理・取扱のご相談は まずお求めの取付店・販売店へ

取付店・販売店 〓

電話 ー

株式会社 オンダ製作所

URL <https://www.onda.co.jp/>

●営業部 〒501-3263

岐阜県関市広見851番地の3

TEL (0575)24-8585 (代)

商品の技術的なお問合せ専用回線です。

(ご注文は営業窓口へお願いいたします。)

お客様相談窓口 ☎0120-12-8585

受付時間 9:00～12:00/13:00～17:00

(土・日・夜・夏期休暇・年末年始を除く)

材質：紙